

		全専攻		基礎必修科目		
<b>環境法・政策論</b> <b>Environmental Policy</b>		1年	前期	2単位	必修	講義
		担当者(部屋番号)				
<b>藤田 均 (763)</b>						
<b>【 授 業 目 標 】</b>						
<p>物質的な豊かさの追求に重きを置くこれまでの考え方、生活様式を見直し、環境基本法や環境基本計画等に示された新たな環境政策の理念について、環境関連法を中心に解説する。また、現在の日本における環境の実態、公害の防止、自然環境の保護等の環境関連法に基づいて行われている社会の動きを理解し、環境問題に対して各自が環境関連法を根拠に考え、対応できるようになることが目標である。</p>						
<b>【 授 業 方 法 】</b>						
<p>最新版の環境六法を教科書として使用し、独自の資料等を配布して講義形式で行う。新聞に掲載されている環境問題及び独自の資料等を教材にして、対処方針をグループで討論すること等もまじえ、各自、自身の意見を人前で述べられるような訓練も行う。</p>						
<b>【 授 業 計 画 】</b>						
1 環境とは何か 2 環境基本法 3 日本の公害の歴史 1 4 日本の公害の歴史 2 5 大気汚染防止法と水質汚濁防止法 6 ごみ問題 7 欧米諸国の自然保護法 8 日本の国立公園制定史 9 自然公園法 10 自然環境保全法 11 野生動植物の保護法 12 環境基本計画 13 環境影響評価法 1 14 環境影響評価法 2 15 まとめ						
教科書	平成21年版又は22年版環境六法(中央法規出版)その他授業中に独自の資料を配付する。	評価方法	筆記試験又はレポート、出席状況等により総合的に判断する。			
参考書	平成21, 22年度版環境白書	留意点	特になし			